

平成20年度富山県歳入歳出決算概要

平成21年8月10日

出 納 局

平成20年度富山県歳入歳出決算の概要について

H21.8.10

出 納 局

1 決算規模

(単位：百万円・%)

| 区 分 | | 平成20年度 決算額 A | 平成19年度 決算額 B | 増 減 額 (A-B) C | 増減率 C / B |
|------|-----|-----------------|-----------------|------------------|--------------|
| 一般会計 | 歳 入 | 545,212 | 526,714 | 18,498 | 3.5 |
| | 歳 出 | 534,700 | 516,965 | 17,735 | 3.4 |
| 特別会計 | 歳 入 | 171,380 | 148,318 | 23,062 | 15.5 |
| | 歳 出 | 161,147 | 137,155 | 23,992 | 17.5 |
| 計 | 歳 入 | 716,591 | 675,031 | 41,560 | 6.2 |
| | 歳 出 | 695,847 | 654,120 | 41,727 | 6.4 |

(注) 表中の数値は、それぞれ原数値を四捨五入しているため、計数が一致しない場合がある。以下、各表同じ。

- 平成20年度の一般会計及び特別会計を合算した決算額は、
 歳入 7,165億91百万円 (前年度 6,750億31百万円)
 歳出 6,958億47百万円 (前年度 6,541億20百万円)
 となっており、これを前年度と比べると、歳入では415億60百万円、歳出では417億27百万円、それぞれ6.2%、6.4%の増加となった。

決 算 規 模 の 推 移

(単位：百万円・%)

| 区 分 | 決 算 額 | | | | | 対 前 年 度 増 減 率 | | | | | |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 平 16 | 平 17 | 平 18 | 平 19 | 平 20 | 平 16 | 平 17 | 平 18 | 平 19 | 平 20 | |
| 歳 入 | 一般会計 | 562,674 | 539,833 | 532,099 | 526,714 | 545,212 | △ 1.0 | △ 4.1 | △ 1.4 | △ 1.0 | 3.5 |
| | 特別会計 | 167,898 | 169,872 | 160,324 | 148,318 | 171,380 | 10.8 | 1.2 | △ 5.6 | △ 7.5 | 15.5 |
| | 合 計 | 730,572 | 709,706 | 692,424 | 675,031 | 716,591 | 1.5 | △ 2.9 | △ 2.4 | △ 2.5 | 6.2 |
| 歳 出 | 一般会計 | 546,116 | 527,540 | 520,190 | 516,965 | 534,700 | △ 0.4 | △ 3.4 | △ 1.4 | △ 0.6 | 3.4 |
| | 特別会計 | 151,203 | 154,814 | 144,994 | 137,155 | 161,147 | 13.6 | 2.4 | △ 6.3 | △ 5.4 | 17.5 |
| | 合 計 | 697,319 | 682,354 | 665,185 | 654,120 | 695,847 | 2.3 | △ 2.1 | △ 2.5 | △ 1.7 | 6.4 |

2 一般会計歳入歳出決算

(1) 決算収支

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成20年度決算額 A | 平成19年度決算額 B | 増減額 (A-B) C | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 1 歳入総額 | 545,212 | 526,714 | 18,498 | |
| 2 歳出総額 | 534,700 | 516,965 | 17,735 | |
| 3 歳入歳出差引額(形式収支) a | 10,512 | 9,748 | 763 | |
| 4 翌年度へ繰り越すべき財源 | 継続費 | 261 | 248 | 13 |
| | 繰越明許費 | 9,673 | 8,936 | 737 |
| | 事故繰越し | 27 | 0 | 27 |
| | 計 b | 9,961 | 9,184 | 777 |
| 5 実質収支額 (a - b) | 550 | 564 | △14 | |

- 一般会計の決算額については、歳入は5,452億12百万円で、前年度と比べると、184億98百万円、3.5%の増加となり、歳出は5,347億円で、前年度と比べると、177億35百万円、3.4%の増加となった。

形式収支では105億12百万円、形式収支から繰越事業にあてる財源として翌年度へ繰り越すべき額99億61百万円を控除した実質収支は、5億50百万円の黒字となった。

※ 平成20年度一般会計決算のポイント

- 歳入では、法人県民税や法人事業税、地方消費税、軽油引取税などが減少するなど、**県税は6年振りに減少となったが、減収補てん債や臨時財政対策債などの県債が増加したこと、景気・雇用対策のための各種基金の造成や平成20年7月の豪雨災害に対する災害復旧対応などにあてる国庫支出金が増加したことなどにより、歳入全体では10年ぶりの増加となった。**
- 歳出では、厳しい財政環境の中、**マイナス・シーリングによる経費の節減や新たに平成20年度から3年間の給料の臨時的減額等により人件費の削減を図りつつ、「元気とやまの創造」を目指し、中小企業の振興、雇用の確保と創出、北陸新幹線の整備、子育て支援、医療・福祉の充実、県土保全の推進など「活力」、「未来」、「安心」の三つの柱に沿った重点施策を推進した。**
さらに、秋口からの深刻な世界的な金融危機が、急速に实体经济にも大きな影響を及ぼしたことから、国の緊急の景気雇用対策に呼応して、**公共事業、主要県単独建設事業の前倒し、雇用、福祉、消費者関連の基金の創設などに取り組んだ。**
これらを積極的に推進したことなどにより、**歳出全体では10年振りの増加となった。**
- 実質収支は、5億50百万円の黒字となったが、その額は5年連続で減少し、昭和51年度以降で最も低い黒字額となった。**

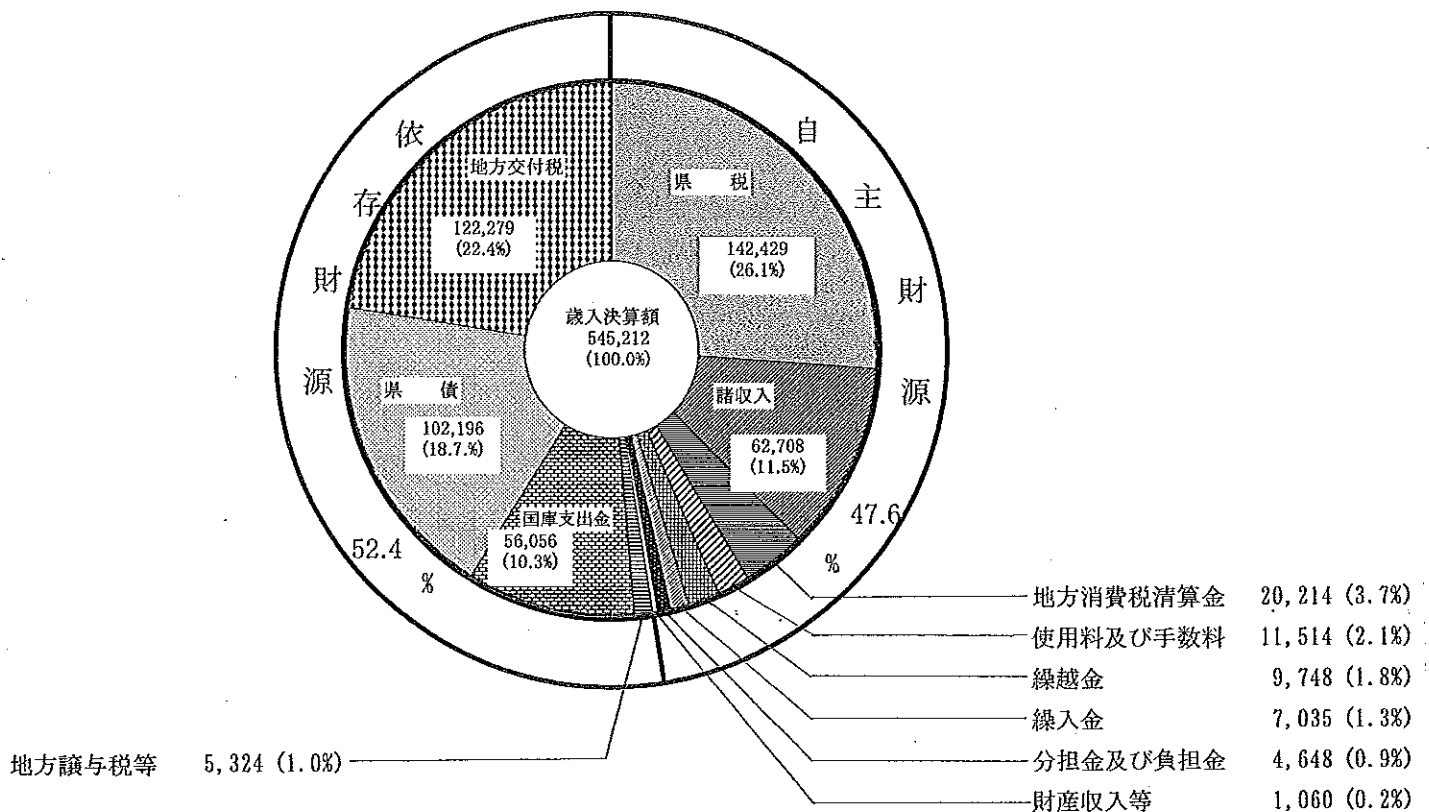
(2) 歳入の状況

(単位:百万円・%)

| 区 分 | 平成20年度決算額 A | | 平成19年度決算額 B | | 増 減 額 C (A-B) | 増減率 C/B (%) | |
|------|-------------|----------|-------------|----------|------------------|----------------|----------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | | | |
| 自主財源 | 県 税 | 142,429 | 26.1 | 151,044 | 28.7 | △ 8,615 | △ 5.7 |
| | 諸 収 入 | 62,708 | 11.5 | 54,211 | 10.3 | 8,497 | 15.7 |
| | 地方消費税清算金 | 20,214 | 3.7 | 21,655 | 4.1 | △ 1,441 | △ 6.7 |
| | 使用料手数料 | 11,514 | 2.1 | 11,762 | 2.2 | △ 247 | △ 2.1 |
| | そ の 他 | 22,491 | 4.1 | 30,273 | 5.7 | △ 7,782 | △ 25.7 |
| | 小 計 | 259,357 | 47.6 | 268,945 | 51.1 | △ 9,589 | △ 3.6 |
| 依存財源 | 地方交付税 | 122,279 | 22.4 | 121,361 | 23.0 | 918 | 0.8 |
| | 国庫支出金 | 56,056 | 10.3 | 44,088 | 8.4 | 11,968 | 27.1 |
| | 県 債 | 102,196 | 18.7 | 87,986 | 16.7 | 14,210 | 16.2 |
| | (通常債) | (66,366) | (12.2) | (59,852) | (11.4) | (6,515) | (10.9) |
| | (退職手当債) | (5,700) | (1.0) | (7,200) | (1.4) | (△1,500) | (△ 20.8) |
| | (減収補てん債) | (7,800) | (1.4) | (2,600) | (0.5) | (5,200) | (200.0) |
| | (臨時財政対策債) | (22,330) | (4.1) | (18,334) | (3.5) | (3,996) | (21.8) |
| | そ の 他 | 5,324 | 1.0 | 4,334 | 0.8 | 990 | 22.9 |
| 小 計 | 285,855 | 52.4 | 257,768 | 48.9 | 28,087 | 10.9 | |
| 合 計 | 545,212 | 100.0 | 526,714 | 100.0 | 18,498 | 3.5 | |

一般会計歳入決算額の構成

(単位:百万円)



<主な款別決算の特徴>

(ア) 県 税

決算額は、1,424億29百万円で、前年度(1,510億44百万円)と比べると、86億15百万円、5.7%の減少となった。これは、法人県民税や法人事業税、地方消費税、軽油引取税などが減少したことなどによるものである。

(イ) 地方交付税

決算額は、1,222億79百万円で、前年度(1,213億61百万円)と比べると、9億18百万円、0.8%の増加となった。

(ウ) 国庫支出金

決算額は、560億56百万円で、前年度(440億88百万円)と比べると、119億68百万円、27.1%の増加となった。これは、景気・雇用対策のための各種基金の造成や平成20年7月の豪雨災害に対する災害復旧対応などによるものである。

(エ) 県 債

決算額は、1,021億96百万円で、前年度(879億86百万円)と比べると、142億10百万円、16.2%の増加となった。これは、減収補てん債、臨時財政対策債のほか、北陸新幹線整備債などの通常債が増加したことなどによるものである。

(オ) 諸 収 入

決算額は、627億 8百万円で、前年度(542億11百万円)と比べると、84億97百万円、15.7%の増加となった。これは、中小企業制度融資資金の貸付金元利収入が増加したことなどによるものである。

(カ) そ の 他 (依存財源)

うち地方特例交付金の決算額は、23億 8百万円で、前年度(10億21百万円)と比べると、12億87百万円、126.0%の増加となった。これは、道路特定財源の暫定税率の失効期間中における減収を補てんするための地方税等減収補てん臨時交付金や住宅借入金等特別税額控除による個人住民税の減収を補てんするための減収補てん特例交付金が交付されたことなどによるものである。

その結果、自主財源の割合は前年度(51.1%)と比べると3.5ポイント低い47.6%となった。

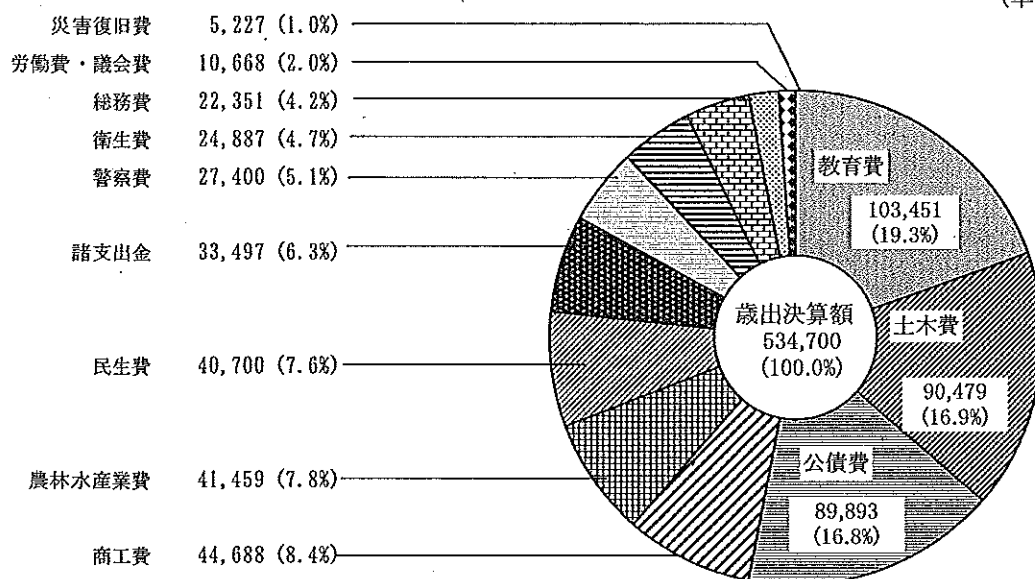
(3) 歳出の状況

(単位：百万円・%)

| 区 分 | 平成20年度決算額 A | | 平成19年度決算額 B | | 増減額 C (A-B) | 増減率 C/B (%) |
|-------------|-------------|---------|-------------|---------|----------------|----------------|
| | | 構成比 (%) | | 構成比 (%) | | |
| 議 会 費 | 1,037 | 0.2 | 1,081 | 0.2 | △ 44 | △ 4.1 |
| 総 務 費 | 22,351 | 4.2 | 21,448 | 4.1 | 903 | 4.2 |
| 民 生 費 | 40,700 | 7.6 | 38,416 | 7.4 | 2,284 | 5.9 |
| 衛 生 費 | 24,887 | 4.7 | 22,710 | 4.4 | 2,177 | 9.6 |
| 労 働 費 | 9,632 | 1.8 | 2,026 | 0.4 | 7,606 | 375.4 |
| 農 林 水 産 業 費 | 41,459 | 7.8 | 44,434 | 8.6 | △ 2,975 | △ 6.7 |
| 商 工 費 | 44,688 | 8.4 | 35,230 | 6.8 | 9,458 | 26.8 |
| 土 木 費 | 90,479 | 16.9 | 89,076 | 17.2 | 1,403 | 1.6 |
| 警 察 費 | 27,400 | 5.1 | 26,933 | 5.2 | 466 | 1.7 |
| 教 育 費 | 103,451 | 19.3 | 105,834 | 20.5 | △ 2,383 | △ 2.3 |
| 災 害 復 旧 費 | 5,227 | 1.0 | 1,442 | 0.3 | 3,785 | 262.5 |
| 公 債 費 | 89,893 | 16.8 | 90,750 | 17.6 | △ 857 | △ 0.9 |
| 諸 支 出 金 | 33,497 | 6.3 | 37,585 | 7.3 | △ 4,088 | △ 10.9 |
| 合 計 | 534,700 | 100.0 | 516,965 | 100.0 | 17,735 | 3.4 |

一般会計歳出決算額の構成

(単位：百万円)



<主な款別決算の特徴>

(ア) 総 務 費

決算額は、223億51百万円で、前年度(214億48百万円)と比べると、9億3百万円、4.2%の増加となった。これは、青少年育成費などが減少したものの、地域活性化推進事業や個人県民税徴収取扱費市町村交付金が増加したことなどによるものである。

(イ) 民 生 費

決算額は、407億円で、前年度(384億16百万円)と比べると、22億84百万円、5.9%の増加となった。これは、国民健康保険指導費や黒部学園改築整備費が減少したものの、子育て支援対策臨時特例基金の造成、障害者自立支援対策臨時特例基金の増額や介護保険給付費の負担金が増加したことなどによるものである。

(ウ) 衛 生 費

決算額は、248億87百万円で、前年度（227億10百万円）と比べると、21億77百万円、9.6%の増加となった。これは、成人保健対策費などが減少したものの、妊婦健康診査臨時特例基金の造成や後期高齢者医療助成費が増加したことなどによるものである。

(エ) 労 働 費

決算額は、96億32百万円で、前年度（20億26百万円）と比べると、76億6百万円、375.4%の増加となった。これは、ふるさと雇用再生特別基金や緊急雇用創出臨時特例基金を造成したことなどによるものである。

(オ) 農林水産業費

決算額は、414億59百万円で、前年度（444億34百万円）と比べると、29億75百万円、6.7%の減少となった。これは、農地防災、農村総合整備等の公共事業が減少したことなどによるものである。

(カ) 商 工 費

決算額は、446億88百万円で、前年度（352億30百万円）と比べると、94億58百万円、26.8%の増加となった。これは、中小企業向けの貸付けが増加したことなどによるものである。

(キ) 土 木 費

決算額は、904億79百万円で、前年度（890億76百万円）と比べると、14億3百万円、1.6%の増加となった。これは、公共事業において、道路、街路等が減少したものの、北陸新幹線建設費の負担金や河川海岸が増加したことなどによるものである。

(ク) 警 察 費

決算額は、274億円で、前年度（269億33百万円）と比べると、4億66百万円、1.7%の増加となった。これは、給与費が減少したものの、富山西警察署（仮称）工事費が増加したことなどによるものである。

(ケ) 教 育 費

決算額は、1,034億51百万円で、前年度（1,058億34百万円）と比べると、23億83百万円、2.3%の減少となった。これは、高等学校校舎等リフレッシュ事業費などが増加したものの、給与費が減少したことなどによるものである。

(コ) 災 害 復 旧 費

決算額は、52億27百万円で、前年度（14億42百万円）と比べると、37億85百万円、262.5%の増加となった。これは、海岸災害復旧事業が増加したことなどによるものである。

(サ) 公 債 費

決算額は、898億93百万円で、前年度（907億50百万円）と比べると、8億57百万円、0.9%の減少となった。これは、繰出金が減少したことによるものである。

3 特別会計歳入歳出決算

(単位：百万円・%)

| 区 分 | 平成20年度決算額 A | 平成19年度決算額 B | 増減額 (A-B) C | 増減率 C/B |
|---------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 歳 入 | 171,380 | 148,318 | 23,062 | 15.5 |
| 歳 出 | 161,147 | 137,155 | 23,992 | 17.5 |
| 歳入歳出差引額 | 10,233 | 11,163 | △ 930 | △ 8.3 |

- 特別会計の決算額については、歳入は1,713億80百万円で、前年度と比べると、230億62百万円、15.5%の増加となり、歳出は1,611億47百万円で、前年度と比べると、239億92百万円、17.5%の増加となった。

歳入歳出差引額は、102億33百万円で、この歳入歳出差引額は、各会計ごとにそれぞれ平成21年度へ繰り越しとなった。

<主な特別会計の決算の特徴>

(ア) 公債管理特別会計

前年度と比べると、借換債、償還元金が増加したことなどにより、歳入・歳出ともに、233億37百万円、21.1%の増加となった。

(イ) 中小企業活性化資金特別会計

前年度と比べると、歳入においては、貸付金の償還が増加したものの、前年度からの繰越金が減少したことなどにより、1億91百万円、2.1%の減少となり、歳出においては、農工商連携ファンド造成のための貸付金が増加したことなどにより、7億29百万円、12.0%の増加となった。

(ウ) 公共用地先行取得事業特別会計

前年度と比べると、公共用地の先行取得事業が減少したことなどにより、歳入が10億57百万円、36.5%の減少、歳出が4億22百万円、21.6%の減少となった。

(エ) 流域下水道事業特別会計

前年度と比べると、公的資金の繰上償還を行ったことなどにより、歳入が19億20百万円、18.4%の増加、歳出が20億17百万円、26.9%の増加となった。

特別會計決算収支額

(単位：百万円・%)

| 会 計 名 | 歳 入 | | | | 歳 出 | | | | 歳入歳出 差引額 A-C |
|-------------------------------|-------------|-------------|---------|-------|-------------|-------------|--------|-------|--------------------|
| | 20年度 決算額 | 19年度 決算額 | 増減額 | 比 率 | 20年度 決算額 | 19年度 決算額 | 増減額 | 比 率 | |
| | A | B | A-B | A/B | C | D | C-D | C/D | |
| 1 物品調達等管理特別会計 | 719 | 908 | △ 189 | 79.2 | 595 | 799 | △ 203 | 74.5 | 124 |
| 2 公債管理特別会計 | 133,763 | 110,427 | 23,337 | 121.1 | 133,763 | 110,427 | 23,337 | 121.1 | 0 |
| 3 収入証紙特別会計 | 5,850 | 6,474 | △ 624 | 90.4 | 5,791 | 6,334 | △ 543 | 91.4 | 59 |
| 4 母子寡婦福祉資金特別会計 | 167 | 164 | 4 | 102.1 | 62 | 47 | 15 | 131.3 | 105 |
| 5 中小企業活性化資金特別会計 | 8,752 | 8,943 | △ 191 | 97.9 | 6,782 | 6,053 | 729 | 112.0 | 1,970 |
| 6 農業改良資金特別会計 | 336 | 455 | △ 119 | 73.8 | 40 | 152 | △ 112 | 26.2 | 296 |
| 7 沿岸漁業改善資金特別会計 | 200 | 215 | △ 14 | 93.3 | 12 | 49 | △ 37 | 25.3 | 188 |
| 8 林業振興・有峰森林特別会計 | 468 | 478 | △ 10 | 98.0 | 324 | 337 | △ 13 | 96.0 | 145 |
| 9 奨学資金特別会計 | 329 | 313 | 16 | 105.1 | 192 | 172 | 20 | 111.8 | 137 |
| 10 公共用地先行取得事業 特別会計 | 1,836 | 2,893 | △ 1,057 | 63.5 | 1,529 | 1,951 | △ 422 | 78.4 | 308 |
| 11 「元富山県営水力電気並鉄道 事業」資金特別会計 | 3,362 | 3,558 | △ 196 | 94.5 | 0 | 806 | △ 806 | 0.0 | 3,362 |
| 12 港湾施設特別会計 | 2,547 | 1,968 | 579 | 129.4 | 2,389 | 1,936 | 453 | 123.4 | 158 |
| 13 工業用地等管理特別会計 | 692 | 1,084 | △ 392 | 63.8 | 157 | 599 | △ 442 | 26.1 | 535 |
| 14 流域下水道事業特別会計 | 12,358 | 10,438 | 1,920 | 118.4 | 9,511 | 7,494 | 2,017 | 126.9 | 2,847 |
| 合 計 | 171,380 | 148,318 | 23,062 | 115.5 | 161,147 | 137,155 | 23,992 | 117.5 | 10,233 |